

かつやま 議会だより

3月定例会報告

2026.4.23

No.99



勝山南部中学校



勝山中部中学校



勝山北部中学校

一歩ずつ、
未来へつながる春

常任委員会報告	P 2
代表質問	P 4
一般質問	P 5
特別委員会報告	P10
審議結果	P12

● 予算委員会

令和8年度勝山市一般会計予算143.5億円と、令和8年度勝山市一般会計補正予算（第1号）、令和7年度勝山市一般会計補正予算（第8号）について審査を行い、いずれも可決しました。また、勝山市一般会計補正予算（第6号、第7号）に関する専決処分についても審査の結果、承認しました。

例年、3月定例会の予算委員会では新年度予算の審査を行うため、市政の重要課題を巡り議論が白熱します。今回も市民生活の向上や将来のまちづくりを見据え、さまざまな視点から多くの質疑や意見を交わしました。

新年度予算は、北陸新幹線の延伸や中部縦貫自動車道の整備促進により観光需要の拡大が見込まれる中、恐竜を核とした観光と学術の融合や、民間活力を最大限に活用した宿泊施設の整備促進などの施策が盛り込まれています。また子育て関連では学校や保育園等の給食無償化や給付型奨学金の創設、防災減災対策として防災行政無線の更新や避難所環境の整備、公共施設の再編など、幅広い分野にわたり取組が進められます。第6次勝山市総合計画に掲げる2つの「創る」と4つの「守る」の柱に沿い、まちづくりを推進する内容となっています。

ここでは、活発な議論があった内容を含めて報告します。

◆ ネイチャーポジティブ公園事業【新規・5,880万円】 （財源内訳 国2,200万円・地方債3,310万円・一般財源370万円）

国のネイチャーポジティブ公園事業を活用し、長尾山総合公園内に新たに広場及び駐車場整備等を行うため、測量・設計を実施。また、1期エリアの未買収地を取得する旨の説明がありました。

委員 事業総額11億円をかけて公園整備することには反対、絶滅危惧種であるオオタカ保全の観点からも事業の見直しが必要だと考える。

理事者 国や県の有利な財源（社会資本整備総合交付金、公共事業債）を活用していくことにより、市の実質負担額は約1億8,000万円と見込んでいる。公園の整備後は年間

普通交付税2,040万円が交付されるなど、市の負担を最小限にとどめながら財源確保に努めたい。オオタカを含めた猛禽類に対しては、都度専門家と協議しながら事業を進めている。緑の基本計画を軸に長尾山総合公園に生息する希少な動植物との共存を図りながら、市の発展に向けて2期エリアの用地買収も今後進めていきたい。

◆ 結婚支援事業費【1,245万円】 （財源内訳 国515万円・県480万円・一般財源250万円）

- ・ 婚活アドバイザーによる個別相談、スキルアップ講座や婚活イベント等と連携した併走型サポート体制の充実。
- ・ 異業種交流会の開催など未婚者を対象に交流会を2回開催する。



◆ スポーツ観戦招待【新規・69万円】 (財源内訳 一般財源69万円)

福井県が指定している「ふくい県民応援チーム」等の試合や大会に市内小中高生の親子115組を招待する。

委員 福井ブローウィングスのチケットを市が購入することになっている。市のメリットはあるのか。以前あった福井ユナイテッドFCは連携協定を結び、チケット無償で市がバス代を負担していた。

理事者 福井ブローウィングスだけでなく、スポーツへの夢や憧れを抱く子ども達のために、福井県民応援チーム（ブローウィングス、ユナイテッドFC、ブルーサンダー等）や県内のスポーツ大会を対象に変更する。

委員 早く開催したスポーツで予算を使い切ったらどうなるのか。

理事者 予算は限られているので皆さんの様子を見て、また議会に相談させていただきたい。

◆ 相撲部屋合宿の誘致【新規・163万円】 (財源内訳 ガバメントクラウドファンディング81.5万円、一般財源81.5万円)

現大関の安青錦関が所属する安治川部屋の合宿を市内に誘致し、市民等との交流を行い、市内の相撲選手の技術向上や新たな力士の育成を図る。

1 開催予定 令和8年10月

2 場所 稽古場所及び交流場所
神明神社境内

◆ 勝山中学校給食調理業務【新規・1億1,352万円】 (財源内訳 一般財源1億1,352万円(債務負担行為 令和13年度まで))

勝山中学校の調理業務を民間事業者の自校式給食により安全で安心な給食を提供する。

令和8年8月に業者決定契約を行う。

令和8年度当初予算の概要はこちらからご覧いただけます。



(勝山市HP)

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案18件について全て可決し、陳情4件のうち1件を採択、1件を趣旨採択、2件を継続審査としました。

◆ 勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

委員会では個別の議員の事件に基づき、議会としても現段階で議員報酬を引き上げるべきではないという意見、一方で審議会からの答申を受け、30年間改定されていなかった議員報酬について、物価の上昇等もさることながら、今後、次世代が議員になるためにも改定すべきという意見がありました。採決の結果、原案を可決しました。

◆ 友楽喜に関する2件の陳情について

これまで市民への説明が不足していた一方で、議会も指摘する機会があったことを前提に、本定例会中に開かれた説明会の状況を詳細に聞き取り、審査しました。

説明会では利用者の方から様々な意見がある中、議会としては今後も利用者との合意を得るため話し合いを継続すること、利用者から要望がある11月末まで利用延長することを求めました。

議会としても今後の動向を見極める必要があることから、継続審査とすることに決しました。



生涯学習センター「友楽喜」

建設産業委員会

審査の結果、議案11件について全て可決しました。

◆ 令和8年度勝山市下水道事業会計予算について

新規事業として、伊知地・坂東島地区及び勝山東部地区を対象に農業集落排水処理施設の今後について、存続するか公共下水道に統合するかを判断し、合理的かつ将来負担の少ない施設運営方針を明確化することを目的に「維持管理適正化計画」を策定する業務委託を予定している旨、説明がありました。

採決の結果、原案を可決しました。

委員 人口動態なども考慮しつつ長期的なビジョンで配管やポンプ、施設の更新・統合を検討されたい。

理事者 策定予定の維持管理適正化計画を基に検討していく。

◆ 長尾山総合公園の整備について

理事者からは、都市公園事業「ネイチャーポジティブ公園」の補助事業採択要件を満たすために緑の基本計画の改定を進めており、先般パブリックコメントを実施して特に意見はなかったことから現在3月末の公表を目指しているとの説明がありました。また、令和8年度事業としては1期エリア未買収地の用地購入費と園路・広場等の測量、設計委託料を見込んでいたとのことでした。

委員 パブリックコメントだけで意見を聞くのではなく、ネイチャーポジティブ公園事業について広く丁寧に市民へ説明して、理解を得て事業を進めていくべき。

理事者 広報等で計画の内容を周知し、市民の意見を頂いていく場を作っていきたい。

緑の基本計画は
こちらからご覧
いただけます。



(勝山市HP)

代表質問 議:議員/理:理事者

- 2026年度当初予算について
- 出生届をオンラインで提出することについて

その他の質問

- ・男性が育休を取得する時の「育休カバー手当」について
- ・観光客の増加を見込んでの市の対応について
- ・中学校吹奏楽部の地域展開について



市政会 下道恵子 議員



議 市の2026年度当初予算では給食費の完全無償化など充実した子育て環境の実現に向けての施策が豊富にあるが、既存の地場産業への経済対策や若者への支援（若者が集う場所の誘致など）についてはどんな施策を検討しているのか。また結婚支援体制の強化とはどんな内容なのか。

理 地場産業、企業の賃上げに直接的に結びつける経済対策について、本市では、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、一定の要件を満たす事業者に対して3年間の固定資産税の課税免除措置を講じるなどにより、企業の「稼ぐ力」を高め働く世代の所得向上につながる環境づくりに取り組む。

若者が集う場所については、宿泊施設の誘致により平日の昼間人口を増やし、魅力的な飲食店の増加につなげるとともに、こども会館等の改修により交流場所を確保する。

結婚支援は、民間アドバイザーによる出会いから成婚、当市への定住までをサポートする伴走型支援やオンライン相談の活用、「ふく恋マッチングシステム」の新登録料助成などを新たに実施しSNS等での情報発信を強化する。各分野の施策を総合的に展開し、若年層や子育て世代に選ばれるまちを目指していく。

議 青森市では条件が整えばマイナンバーカードを利用して医師等が作成した出生証明書を画像データで添付することで市役所まで出向かずに出生届ができる。市でもオンライン提出できるようにならないか。

理 国において、令和8年度中を目途に戸籍情報システムに連携した新しい仕組みのオンライン出生届が全国の自治体で運用開始できるようシステム開発等が進められている。本市においても、導入により各種手続きのオンライン申請が可能となり、子育て世帯の負担軽減につながると考えるため、令和9年度以降の導入について検討を進めていく。

● 学校給食について

その他の質問

- ・ 道路交通法改正について
- ・ 子ども・子育て支援金制度について
- ・ 避難ルートのインフラ整備について



吉田将克 議員



議 学校給食は、学校給食法はもちろんのこと学校給食摂取基準に基づいて実施されている。この基準は全国的な平均値ではあるが、地域の実情に応じて配慮しているのか伺う。

また、昨年県外の学校給食の写真がSNSに投稿され、配膳時の見た目で非難を浴びることとなったが、献立作成の際に配膳の見た目も考慮されているのか伺う。

さらに、各小学校及び令和9年度開校の勝山中学校の給食室においてどのような熱中症対策を行っているのか、または行うのか伺う。

理 学校給食摂取基準は、国の基準を参考に算出されているが、本市ではこれを踏まえながら、栄養教諭等が地元産の食材を給食に取り入れるなど、地域の実情に応じた特色ある献立を作成している。

献立作成時の見た目については、各学校で給食の配膳写真をSNSにアップするなどの取組を行っており、出来上がりをイメージしながら色取りや品数、栄養価を考えている。おいしく見える、栄養価も考えた給食であることを保護者などにも理解していただくために、配膳の見せ方は重要だと考えている。

給食室の熱中症対策については、文部科学省の通知に基づき空調設備等の設置が指導されているが、本市では小中学校の給食室にはエアコンを整備しており、現在建設中の勝山中学校の給食室においても設置する。今後とも調理室で働く方の熱中症対策には万全を期していきたい。



給食の配膳写真（市内小学校のブログより）

● 小中学校におけるタブレット端末活用について
● 教育会館改修に伴う活動場所等について

その他の質問

- ・ 不登校等児童生徒について



森かよ子 議員



議 小中学校におけるタブレット端末を活用した、効果的な学習内容や授業での活用事例、家庭に持ち帰る際の学習内容を伺う。

理 タブレット端末の機能を活かし、資料等の閲覧や調べ学習、自分の作品・技能を撮影した振り返りなど、主体的な学びに資する活用を進めている。特に自分の考えをまとめ、意見を共有する場面では、全員が短時間に情報を共有し、話し合いの時間を多く確保できるため、思考力やコミュニケーション能力等の育成に向けた効果的な学習ができています。

家庭学習では「ミライシード」というAIドリルを活用しており、児童生徒一人ひとりの理解度に合わせた問題提示により自学自習に適している。LTEモデルの採用により、いつ・どこでも活用が可能である。

議 教育会館で活動している団体の活動内容と場所の適合性は、非常に重要である。利用する団体が円滑に活動できるよう、いつまでに、どのように決定するのか伺う。

理 定期的に利用する団体に対しては、活動に必要な部屋の広さや設備、利用時間などの精査を行い、代替施設として市民会館や福祉健康センターすこやか、市民交流センター等の活用を個別に提案している。教育会館の貸館が停止する令和8年11月以降の施設利用申し込みが開始される前に、定期利用団体の調査を行う予定。調査の結果、各団体の活動場所と時間が重複する場合は、皆様の希望を聞いた上で、具体的な代替施設の提案や利用時間の調整等を行っていく。今後とも皆様の活動が継続して行えるよう環境整備に努める。

一般質問 議:議員/理:理事者

● 広報誌や地域情報誌の家庭配布について

その他の質問

- ・新中学校の図書館と市立図書館を電子図書館にする事業について



下牧 一郎 議員



議 雪国である本市では、超高齢化と過疎化が急速に進行している。その中で、広報誌や地域情報誌等を住民が手渡しで配布することは、冬の転倒事故の危険を伴う「命がけの重労働」となっており、すでに限界を迎えている。現在のように住民の責任感に依存した配布体制は、自治組織の維持自体を困難にしている。そこで、①地区配布か業者委託かを選択できる制度、②業者等への全戸委託、③学生アルバイトの活用といった具体的な方策を提案する。これらは単なるコスト増ではなく、高齢者の安全確保と持続可能な自治組織を維持するために必要な投資であると考えているが、市の見解を伺う。

理 現在、月2回「広報かつやま」等の行政文書を、行政協力員を通じて各家庭へ配布いただいている。文書の配布量が多いという意見を以前から受け、市では行政文書の削減を継続的に取り組んできた。その結果、令和7年度は5年度同時期と比較して配布量を約34%削減しており、令和8年中には配布回数を月1回に削減する予定である。行政文書を郵送した場合の経費は、1回あたり概ね100万円、年間約1,200万円が見込まれる。提案はそれぞれ有効性があるものと考えているが、市としては、今後も行政文書のさらなる精査を進めると共に、デジタル化を進めていく。しかし、スマートフォン操作が苦手などの理由からデジタル情報の取得が困難な方への対応も必要である。まちづくり会館等でのスマートフォン操作を学べる機会を積極的に提供するなど、普及促進を図っていきたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 生涯学習センター「友楽喜」事務所機能移転の進め方と、存続について
- 高齢者移送サービス事業の拡充について

その他の質問

- ・勝山市における宿泊税導入について
- ・地域課題の解決に向けた地域おこし協力隊の戦略的活用について
- ・まつりがまちを育て、発展させる！勝山左義長まつりに市民全員がかかわり、次世代につなぐ取り組みについて



浦上 雄次 議員



議 議会の中でも議論できていない中、突然4月に事務所移転や市民会館への移動など方向が示された。現在使用されている団体にとっては急な話であり、計画の見直しを要望するが、市の見解を伺う。

理 「友楽喜」の事務所移転は平成28年策定の公共施設等総合管理計画に基づく貸館機能の集約化を進めるものである。当時は受け入れ先の課題があり計画を延期したが、その後市民会館からの建設課等移転や中学校統廃合に伴う体育館施設の状況変化、中心市街地のにぎわい創出、計画の進展があり、課題が解決されてきた。これらを踏まえ、市民総合大学の利用拡大を目的に令和7年度当初より検討を重ね、利用者の一部には市民会館への利用移行を促していた。

説明の時期が性急であったとの指摘は真摯に受け止める。利用者の理解を得ながら令和8年4月からの会場移動を実現し、令和9年度以降の施設廃止に向けた調整を進めていきたい。

議 市内には介護タクシーを使い、高齢者移送サービス事業を利用している方々がいるが、事業の拡充は高齢化社会が進む勝山市にとって今後確実に必要であり、介護しているご家族の負担を少しでも軽減してほしいと思う。市の見解を伺う。

理 高齢者移送サービス事業は、常時車椅子等を使用し、一般交通機関での外出が困難な在宅高齢者が対象で、通院等に介護タクシーを利用する場合の初乗運賃を補助するもの。本事業の予算拡充については、まず現在の利用状況や事業への意見を聞き、課題を把握していく。その課題をもとに、介護をされているご家族の負担軽減となるよう、事業内容の見直しや予算の拡充を検討していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 新中学校の給食の運営方式と内容について
- 老老介護の勝山市の実態とその支援について

その他の質問

- ・結婚を希望する若者の出会いの提供について
- ・長尾山総合公園の駐車場の有料化について



富士根信子議員



議 地産地消・食育関係・食材や調理員との交流など現在の小学校給食のような心温かい雰囲気は存続されるのか。なぜ業務委託にするのか、なぜ市直営ではできないのかなどを含め、委託企業の業務内容や権限の範囲、また企業主導の運営とならないのか説明を伺う。

理 調理業務等を委託するが、新中学校でも現在の小学校と同様に自校式給食を提供し、地元事業者等から食材を調達し、給食室内で調理した温かい給食になる。市が業務マニュアルを整備し、法令順守を指導することで、市が主導して運営を実施する。

地産地消や食育は、栄養教諭と委託事業者が連携し、地元産食材を積極的に取り入れたメニューや調理員と生徒の交流、事業者からの特別メニューの提案などができるよう準備を進める。

業務委託により教育委員会の事務負担軽減を図るほか、民間事業者の優れた調理技術や衛生管理能力、調理人材の確保も含めた専門的なノウハウを活用し、安全安心で美味しい給食を安定して提供していきたい。

議 パートナーの介護のために、職を失い、わずかな年金だけの生活で困窮している家庭の話聞いた。このような家庭への支援についての考えと、勝山市の介護の実態や老老介護の状況とその対応について伺う。

理 本市の介護実態として、令和8年1月時点で1,534名が要介護認定を受け、約6割が在宅サービスを利用している。夫婦共に65歳以上の世帯は、令和7年3月末で999世帯である。老老介護は負担が大きく、経済的不安を抱える場合もある。

支援として、ケアマネジャーを中心にデイサービス等様々な介護サービスにつないだり紙おむつ助成事業を実施したりしている。その他、生活困窮世帯には福祉課や社会福祉協議会等と連携して支援する。高齢者の総合相談窓口として今後も地域包括支援センターを周知し、早期の相談・支援につなげる体制を維持していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山市の防災について
- 福祉政策について

その他の質問

- ・まちづくりについて



松山信裕議員



議 「雪害マイタイムライン」について、雪害を想定した、一人ひとりが行動を整理するマイタイムラインを導入すべき。

さらに個別避難計画について、避難行動要支援者登録を名簿で終わらせず、実効性のある個別避難計画をどの様に進めて行くのか。

理 生活用品の備え、燃料の確保、除雪のポイント等、市民に必要な事項については広報等で周知しているが、それぞれの家庭事情により行動は変わる。事前に行動する時期や内容を決めておくことは大切であり、市ホームページ等で事前に決めておくべき行動等について周知していく。

個別避難計画は、災害時に自力避難が困難な人の安全確保を図るための取組であり、「誰が、どこへ、どのように避難するか」を具体化することが重要と考えている。そのため福祉専門職と連携し、専門性を生かした計画づくりを検討していく。

議 重層的支援体制整備事業について、包括的な支援体制の構築をすべきと提案していた「重層的支援体制整備事業」が導入される。市としてどのように取り組んでいくのか。

また、障がい者雇用環境について、法定雇用率が令和8年7月から、民間企業は2.7%、地方公共団体、国は3.0%と引き上げられる。今後の支援策をどのように考えているのか。

理 本事業は、高齢、障がい、子ども、生活困窮など、各制度で分断されてきた支援を一体的に提供する仕組みを整えるもの。福祉課が調整役となり、関係機関が連携して組織的に対応する「よこ糸会議」等の体制を整え、支援の抜け落ちを防ぐ。また「すこやか」のレイアウトを変更して窓口機能を集約し、相談しやすい環境を整備する。

障がい者雇用については、ジョブコーチの活用や適切なマッチングに努めている。今後も、企業へ支援制度を周知し、相談に応じ速やかに関係機関につなぐなど環境整備に努めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 健康診断の強化について
- ひきこもり支援と重層的支援体制について

その他の質問

・勝山市行政における組織のあり方と職員体制について

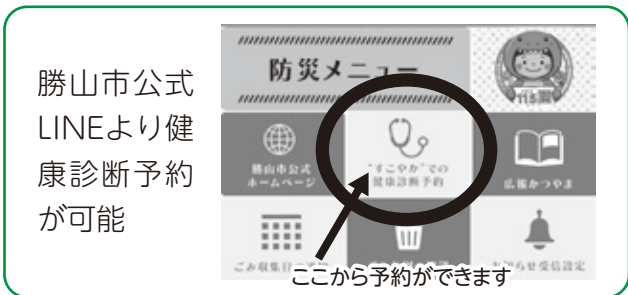


石垣智史 議員



議 勝山市の特定健診受診率は約42%で、国の目標70%を大きく下回っている。健診は病気の早期発見につながり、命を守る大切なもの。通知や予約方法を見直し、QRコード予約や自動通知など受診しやすい仕組みをすることで、受診率向上と健診強化を図る必要があると考えるが、市の見解を伺う。

理 市民全体の受診率は把握できないが、特定健診は目標50%に対し令和6年度42.5%である。案内封筒の工夫や集団・個別健診の選択、LINE予約システムの導入、自己負担無料化など受診しやすい体制を整備し、受診率は上昇している。受診データは蓄積・共有しており、今後は医師会等と連携し活用を検討する。広報やLINE通知の充実などにより、引き続き受診率向上に取り組む。



議 ひきこもり状態にある方への支援について、国の推計では60万人以上いるとされ、地域にも同様の課題があると考えられる。来年度から始まる重層的支援体制がどのような仕組みで支援を行うのか、また市内の実態や人数の把握、さらにリスキリングや就労支援など社会参加につなげる取組について、市の考えを伺う。

理 重層的支援体制は分野横断で支援をつなぐ仕組みで、対象は全ての市民である。ひきこもりの方には訪問や電話等により関係構築を図り、段階的に支援につなげる。当市では全数調査は実施しておらず具体的な推計人数はお示しできないが、相談等からひきこもり状態が疑われる事例はある。関係機関等と連携し、社会参加や就労、リスキリングの機会確保に努める。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 保育園給食の実質無償化と小中学校給食の完全無償化について
- 115プロジェクトについて

その他の質問

・友楽喜の事務所機能移転について
 ・防災行政無線の戸別受信機について
 ・クマの出没と森林環境について
 ・地域おこし協力隊・インターン制度について



李江嵐 議員



議 無償化は子どもの栄養・品質・量を確実に担保することが重要と考える。そこで伺う。予算の積算は、近年の物価上昇等を踏まえ、栄養・品質・量の維持に影響が出ないように配慮した計画か。過年度実績を基準に算定したのか。また、「低価格優先」とならないよう、食材の品質・安全性・産地などの考え方、それを担保する契約・発注上の整理をどのようにするのか。

理 保育園等は国の副食費の徴収免除加算の公定価格や各園の主食費の中央値をもとに副食費4,900円、主食費800円を補助上限とした。公定価格は物価上昇を踏まえ段階的に引き上げられており、各園への調査も反映した。小中学校は令和7年度の保護者負担額をもとに算定したが、食材調達は従来通り各校で行うため価格優先の心配はない。

議 115プロジェクトは、応援金115を軸として人口減少対策を市内横断で進める取組と理解している。応援金115は年間約1.6億円規模であり、柱となる数値目標は重要だ。そこで伺う。結局115プロジェクトとはどういったもので、何をやるものなのか。また、出生数115人・婚姻数115%増を人口目標としているのか。その目標に対し、令和7年度の成果はどうか。

理 115プロジェクトは市の人口減少に歯止めをかける目的で、応援金や特色ある教育、保育料無償化などの施策を総合的に展開し、出生・移住増と転出抑制を図るもの。10年後の「出生・転入計115人、婚姻数115%増」は指標として今後も重要な目安である。令和8年2月末現在、出生74人で80人を超える見込み、婚姻数は24組。なお転入時アンケートによると転入61世帯中8世帯が応援金115や保育料無償化を移住のきっかけに挙げており、115プロジェクトの取組が徐々に成果を結びつつあると考えている。



一般質問 議:議員/理:理事者

- 体育館へのスマートロックの導入について
- 親なき後の障がい者支援について

その他の質問

- ・ 避難行動要支援者登録制度の救急での活用について
- ・ インクルーシブ遊具の設置について
- ・ 今冬の着雪害について



公明党 安岡孝一議員



議 施設の利便性の向上やセキュリティの強化、管理業務の効率化あるいは避難所開設の観点から、体育館施設へのスマートロックの導入について市の所見を伺う。

理 令和6年度より林業者健康トレーニングセンター及び勝山市庭球場に導入しており、利便性向上や利用者増の効果が出ている。小中学校体育館は地域の方々の定期的な利用実態を考慮し、令和8年9月からキーボックスと防犯カメラによる管理を予定している。

災害時は避難所の安全確認が必要なため、地震発生から概ね3時間を目途に職員により開設したいと考えている。

体育館施設へのスマートロックの今後の導入については、通信料や停電・通信障害時の対応等の課題もあり、キーボックス方式と併用しながら研究していく。



スマートロック

議 障がいのある方が、親なき後においても住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる支援体制の強化について、市の所見を伺う。

理 本市が令和7年9月に策定した第6次障がい者福祉計画では、基幹相談支援センターや地域生活支援拠点の早期整備と円滑な運営を進めるとしている。相談支援専門員への助言、事例検討を通じ困難事例を一事業所で抱え込まない体制や、緊急時の受入れや短期入所、体験機会の確保など、複数の支援体制を地域の事業所が連携して担い、地域全体で支える体制を構築する。

さらに重層的支援体制整備事業を、分野横断的に支援をつなぐ仕組みとして整備を図っていく。

障がいのある方が親なき後においても住み慣れた勝山市で安心して暮らし続けられるよう、着実に体制整備を進めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 衆院選結果と高市首相の「国論を二分する課題」発言について
- 上水道30%値上げ、下水道14%値上げという答申について

その他の質問

- ・ 温泉センター水芭蕉と近隣ホテル計画と勝山市の役割について
- ・ 生涯学習センター友楽喜を、体育館を除き4月に市民会館等に移動する計画について



日本共産党 山田安信議員



議 アメリカのベネズエラ侵略とマドゥロ大統領拉致、アメリカとイスラエルのイラン先制攻撃、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ地区侵略、全て国際法違反だ。世界を「無法者が軍事力支配する社会」にして良いのか。

選挙での「外国人排除」の差別的主張に対する見解を問う。

高市首相の国論を二分する課題とは、憲法9条改憲、非核三原則を守らない、武器輸出、スパイ防止法など「戦争する国づくり」であり、この政策に賛同するのか。

理 平和を願い、争いで人命が失われることがあってはならないと思っている。選挙での外国人排除という差別にも絶対に反対する。しかしながら国際関係への対応については国の役割であると考えている。憲法改正や安全保障も国家の根幹に関わり国会で議論されるべき事項であり、賛否を述べる立場にないが、恒久平和の精神は尊重されるべきであり、外交と対話による解決が最も大切と考えている。

議 過疎指定での国の支援に準拠して一般会計でも支援すべき。

浄土寺川ダムの上水道負担金が8億円なのに、取水実績はゼロ。リゾートエリア浄水場施設には17億円かかったが開発者負担は4億円。リゾート事業者が開発者負担を請求し、一般会計で一時負担なら値上げは抑えられる。

理 過疎地域である本市では、過疎債など有利な財源を最大限活用し、建設改良事業を行っている。今後も補助金の確保や経費削減に努め、使用者負担の軽減に取り組むとともに、国に対しさらなる支援策を求めていく。浄土寺川ダムは市の水道の水源確保のために整備したもので水道事業の実質負担額は約3億4,000万円となっており、法恩寺リゾート開発事業とは別事業。法恩寺浄水場については法恩寺リゾート開発株式会社が4億6,730万円の整備費を負担しており、処理水はリゾートの他市街地にも供給され、市の貴重な水源となっている。

特別委員会報告

● 新中学校建設特別委員会

1月15日、2月18日、3月16日に会議を開催し、開校に向けた進捗状況を審査しました。

1月は、勝山高校の生徒がデザインした校章や大庭桂氏（勝山市在住）作詞の校歌、自校方式の給食業務委託について報告を受け、食材発注や調理員の確保等懸念事項を議論しました。

2月は、12台体制のスクールバスの運営方法や、令和9年春の閉校・開校スケジュール、給食の地産地消の課題等を議論しました。

3月定例会中の委員会では、スクールバス停留所に関する陳情と開校に向けた進捗状況を審査しました。

陳情については、通学の安全や利便性の観点から停留所の追加・変更を求めるもので、委員会では「地域の実態や要望に即した柔軟な対応を」「区長会等との協議や既存バスとの整合性確認を丁寧に言うべき」といった意見がありました。審査の結果、さらなる検討が必要として、閉会中の継続審査と決しました。

中高連携推進では、数学・英語での高校教員による週1回のTT（チームティーチング）指導や、専門家を招く「ライフデザインリレー講座」などの教育方針を確認しました。

また、校舎本体や国道下の地下横断歩道等の建設工事の進捗について報告を受けました。

31年ぶりに勝山市議会議員報酬を改正しました

【改正の背景】

昨今の地方分権の進展や住民ニーズの複雑化・多様化に伴い、市議会議員にはこれまで以上に幅広い専門性が求められています。また、より良い市政運営と市民福祉の向上のため、議会外での活動時間も増加しています。

こうした中、本市議会の議員報酬については、平成7年度の改定以降、変動はありませんでした。しかし、議員を取り巻く状況は、物価上昇や消費税率の引き上げ、議員年金制度の廃止などにより、大きく変化してきました。

市議会議員は、任期4年の間、市民の代表として能力を発揮し、再選後もそれを継続していくことが求められます。また、その役割を担う人材が複数立候補し、選挙を経て責務を果たしていくことも重要です。

一方で、平成7年に20名であった議員定数は、平成19年に16名、令和5年には14名へと減少しています。議員活動を充実させ、市民の意見を吸い上げるためには、身分の保障が重要な課題となっています。

変化する社会情勢に対応し、行財政運営のチェック機能や政策形成への寄与を果たすためにも、議員活動に専念できる環境づくりと、幅広い人材の確保が必要です。

このような経緯から、勝山市特別職報酬等審議会での議論を経て、令和8年度からの議員報酬を改正する議案を可決しました。

【勝山市特別職報酬等審議会の答申】

市内の公共的団体等の代表者等で構成される勝山市特別職報酬等審議会より、消費者物価指数の上昇、福井県内人口5万人未満の他市の議員報酬の状況等を鑑み、「現行の報酬の額から4万円引き上げる改定が妥当と判断」との答申が出されました。また同時に以下の付帯意見がありました。

・勝山市民の理解と信頼を得るためにも、議員活動の一層の充実及び議員活動実績等のさらなる情報発信を求める。

・勝山市議会議員政治倫理条例を見直し、議員の親族が役員をしている企業等の勝山市に対する請負の禁止に係る規定を撤廃し、勝山市議会議員のなり手の確保を図ることを求める。

今回の改正に至るまでには、議会内においても様々な検討や意見があり、議論を重ねてまいりました。今後さらに、議会としての役割を着実に果たすとともに、その取組を積み重ねていくことで市民の皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。

議員報酬（月額）

区分	現行	改定後	引き上げ額
議長	440,000円	480,000円	40,000円
副議長	370,000円	410,000円	
議員	350,000円	390,000円	

李江嵐議員の辞職勧告決議等について

【令和8年3月定例会における辞職勧告決議】

3月19日開催の本会議において「本市議会の名誉と市民からの信頼が回復されることを願い、李江嵐議員に反省を強く求める」として、議員3名の発議により李江嵐議員に対する3回目の辞職勧告決議案が提出されました。これに対して李江嵐議員からは「本件と真摯に向き合い、反省すべき点は受け止めながら、今後の行動によって信頼の回復を努めてまいりたい。現時点で職を辞することは、市民から託された責任を放棄することにもつながるものであり、適切でないと判断している」と弁明がありました。また討論では「処分については、合理性、合法性、慎重さが必要である。来週には裁判所の判決が出るので司法の判断をよく検証すべき」という意見がありました。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

【李江嵐議員に対する除名処分の取消判決および審決】

令和7年6月26日に本市議会在が議決した李江嵐議員に対する除名処分について、3月下旬に裁判所の判決および福井県知事による審決が出され、いずれも「除名処分を取り消す」との判断でした。

主な理由は、「処分の根拠とされた備忘録の記載内容や特別委員会での答弁について、地方自治法第132条や勝山市議会会議規則第151条に反するとは認められない。よって懲罰事由が認められないため本件除名処分は違法である（判決）」「懲罰事由が存在しないか、仮にあったとしても、処分内容との均衡を欠くものである（審決）」という趣旨のものでした。

勝山市議会としましては控訴は行わず、この結果を受け止めて今後の議会運営に努めてまいります。

これまでの経緯（時系列）

年 月	事 項
令和7年 6月26日	・ 李江嵐議員が市民に対して行った行為について、勝山市議会議員政治倫理条例に反したとして勝山市議会が辞職勧告決議を可決 ・ 李江嵐議員が政治倫理調査特別委員会に提出した「備忘録」の記載に個人的な事象や虚偽歪曲があり、地方自治法や勝山市議会会議規則に反したとして勝山市議会が除名処分を可決
令和7年 7月	李江嵐議員が福井地方裁判所に除名処分取消請求、除名処分執行停止の申立て及び福井県知事に審決の申請。7月31日、福井地方裁判所による除名処分執行停止の決定（議員の地位回復）
令和7年11月	11月11日付けで李江嵐議員が暴行の罪で略式起訴され、11月18日付けで罰金10万円の略式命令を受ける
令和7年12月18日	李江嵐議員の罰金刑確定を受け、辞職勧告決議（2回目）を可決
令和8年 3月19日	辞職勧告決議（3回目）を可決
令和8年 3月24日	福井地方裁判所が「除名処分取消」の判決
令和8年 3月27日	福井県知事が「除名処分取消」の審決

本会議ライブ動画配信を始めました

議場での本会議の様子をインターネットのYouTubeでリアルタイム配信します。

これまでは市長招集あいさつ及び会派代表者質問・一般質問のみでしたが、今後は本会議全般（秘密会を除く）をご覧いただけます。スマートフォン等から視聴できますので、傍聴が難しい方にも議会の議論を身近に感じていただけたと思います。字幕配信とあわせ、より開かれた議会を目指します。

詳しくは勝山市ホームページをご覧ください。

※通信環境等により、映像が停止したり音声途絶えたりする場合があります。

※ライブ動画配信終了後もこれまでどおりYouTubeで視聴可能です。

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
 ■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第51号	令和8年度 勝山市一般会計予算	予 算	可 決
議案第52号	令和8年度 勝山市国民健康保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第53号	令和8年度 勝山市後期高齢者医療特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第54号	令和8年度 勝山市介護保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第55号	令和8年度 勝山市育英資金特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第56号	令和8年度 勝山市水道事業会計予算	建設産業	可 決
議案第57号	令和8年度 勝山市下水道事業会計予算	建設産業	可 決
議案第58号	令和8年度 勝山市市有林造成事業特別会計予算	建設産業	可 決
議案第59号	令和7年度 勝山市一般会計補正予算（第8号）	予 算	可 決
議案第60号	令和7年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	可 決
議案第61号	令和7年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	可 決
議案第62号	令和7年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	可 決
議案第63号	令和7年度 勝山市育英資金特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議案第64号	令和7年度 勝山市水道事業会計補正予算（第3号）	建設産業	可 決
議案第65号	令和7年度 勝山市下水道事業会計補正予算（第3号）	建設産業	可 決
議案第66号	令和7年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算（第3号）	建設産業	可 決
議案第67号	勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第68号	勝山市職員の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第69号	市税条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第70号	国民健康保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第71号	手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第72号	第5次勝山市地域福祉計画の策定について	総務文教厚生	可 決
議案第73号	火災予防条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第74号	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第75号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第76号	勝山市下水道条例及び勝山市水道事業給水条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第77号	勝山市火入れに関する条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第78号	令和7年度勝山市一般会計補正予算（第6号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議案第79号	令和7年度勝山市一般会計補正予算（第7号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議案第80号	第2次勝山市過疎地域持続的発展計画の策定について	総務文教厚生	可 決
議案第81号	令和8年度 勝山市一般会計補正予算（第1号）	予 算	可 決
議案第82号	勝山温泉センター「水芭蕉」の設置及び管理に関する条例の廃止について	建設産業	可 決
議案第83号	勝山温泉センター特別会計条例の廃止について	建設産業	可 決
議案第84号	財産の処分について	建設産業	可 決
議案第85号	勝山市教育委員会教育長の任命について	—	同 意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	異議がない
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	異議がない
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	異議がない
★決議案第4号	李江嵐議員に対する辞職勧告決議について	—	可 決

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳 情 第 2 号	「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書	総務文教厚生	趣 旨 採 択
陳 情 第 3 号	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	総務文教厚生	採 択
陳 情 第 4 号	スクールバス停留所に関する陳情書	新中学校建設	継 続 審 査
陳 情 第 5 号	「友楽喜」廃止・活動移動について、市民の同意と、議会制に基づく丁寧な手続きを求める陳情書	総務文教厚生	継 続 審 査
陳 情 第 6 号	勝山市議会への陳情書（友楽喜の存続について）	総務文教厚生	継 続 審 査

◆ 表決結果 ※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 名	総投票数	投票数		石垣智史	李江嵐	吉田将克	浦上雄次	森かよ子	安岡孝一	富士根信子	下牧一郎	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	山田安信	近藤栄紀	
		賛成票	反対票															
議 案 第 5 1 号	13	11	2	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 5 6 号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 5 7 号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 6 7 号	13	9	4	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 2 号	13	10	3	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 3 号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 4 号	13	9	4	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 5 号	13	10	3	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 6 号	13	11	2	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
決 議 案 第 4 号	11	9	2	○	除	○	○	不	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、除=除斥、議長=議長職（通常は採決に加わらない）

令和7年度行政視察受入れ状況

勝山市議会では、地方自治の発展を目的に、全国の自治体議会からの行政視察を積極的に受け入れていています。令和7年度は13団体から視察がありました。視察のテーマは多岐にわたり、本市の特色ある事業に対する関心の高さがうかがえました。当日は、担当者による説明や現地視察等を通じて、勝山市の施策を深く知っていただく貴重な場となりました。今後も「開かれた議会」として自治体間交流を促進し、より良い地域社会の実現に役立ててまいります。



視察団体名	人数 (随行者含む)	視 察 内 容
福島県須賀川市議会	3	かつやま恐竜スクール育成事業
群馬県館林市議会	6	勝山市観光まちづくり会社の取組
長野県中川村議会	9	児童センター『野向児童館』の取組、学童保育と放課後子ども教室の活動、児童センターの設置及び管理に関する条例
神奈川県座間市議会	7	にこにこ地域づくり事業
長野県飯山市議会	11	議会DX、政治倫理条例
東洋大学経済学部 総合政策学科	8	移住・定住を含めた勝山市の人口減少対策、北陸新幹線開業を踏まえた観光振興の取組、議会の役割
岩手県矢巾町議会	8	地域コミュニティ活動における「にこにこ地域づくり」事業の取組
東京都羽村市議会	6	かつやま恐竜の森の経済効果とまちづくり
新潟県糸魚川市議会	8	かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）再整備・管理運営事業
千葉県銚子市議会	6	史跡を生かした地域振興・観光振興
宮城県栗原市議会	8	にこにこ地域づくり事業
福井県あわら市議会	1	緊急銃猟
大分県杵築市議会	2	子育て支援日本一の取組



弁天桜

大正12年、当時の町長が約100本の桜を植えたことをきっかけに「弁天の桜」が誕生しました。

その後、市橋定吉さんが名古屋から苗木を自費で取り寄せ、自らの畑で育てながら桜を増やし、今の並木道が形成されました。

こうして育まれた桜並木は、春になると見事な「桜のトンネル」となり、地域を代表する名所として多くの人々を魅了しています。



着雪で枝折れした桜

また、春の九頭竜川には、鯉のぼりが元気に泳ぎ、川沿いの景色に華やかに彩りを添えてくれます。そして、毎年開催される「桜まつり」では、地元の方々による、お蕎麦や花見団子など、旬の味覚を楽しむこともできます。

今年は、着雪により多くの枝が折れる被害がありました。それでも老木となった桜たちは、美しい花を咲かせ、訪れる人々をあたたかく迎えてくれました。

弁天の桜は、地域の歴史と人々の想いによって育まれた春の風物詩です。自然と文化が織りなす豊かな景色を、ぜひ現地でお楽しみください。（森 かよ子 記）



弁天の桜並木道

議会日誌

1月26日	福井県市議会議長会定期総会	15日	20歳のつどい
27日	勝山商工会議所新春会員の集い	16日	新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
29~30日	議会運営委員会行政視察	17日	ジオパーク推進協議会、勝山市赤十字奉仕団総会
29日	勝山左義長ばやし保存会新年会・名誉会員と語る会	18日	勝山市立成器南幼稚園閉園式
2月 2日	都市問題に関する特別委員会（東京都）	19日	総務文教厚生委員会、本会議、予算委員会、議会運営委員会、建設産業委員会、全員協議会
6日	全国高速自動車道市議会協議会総会（東京都）	22日	白亜紀ダイナ荘落成式
7日	勝山市スポーツ協会「新春懇談会」及び「世界に羽ばたく勝山市のアスリートを応援する会」支援金贈呈式	24日	さくらの植樹会
13日	福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	25日	特設分団救助用資機材搭載型消防ポンプ車・災害対応特殊救急自動車納車式
14日	谷の「お面さん祭り」	26日	議会運営委員会、勝山・永平寺衛生管理組合議会
18日	全員協議会、新中学校建設特別委員会、議会運営委員会、総務文教厚生委員会	27日	大野・勝山地区広域行政事務組合議会、緑の募金街頭キャンペーン
20日	勝山市防災会議	4月 3日	議会運営委員会
21日	勝山左義長まつり各コンクール表彰式	4日	市民体育大会総合表彰式及び懇親会
25日	本会議、全員協議会、議会運営委員会	6日	議会広報特別委員会
3月 2日	郵便局でのマイナンバーカード関連事務取扱開始式	8日	春の交通安全県民運動
4日	本会議（代表質問・一般質問）、議会運営委員会	11日	勝山市保健推進員協議会総会
5日	本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	13日	春季消防訓練
6日	予算委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会、本会議	14日	議会広報特別委員会、勝山市さわやか大学開講式
9日	総務文教厚生委員会	15日	恐竜渓谷ふくい勝山推進協議会
10日	建設産業委員会	16日	議会運営委員会、4月臨時会本会議、新中学校建設特別委員会、予算委員会、総務文教厚生委員会、全員協議会、建設産業委員会
11日	予算委員会	17日	勝山建設業会懇親会
12日	予算委員会	20日	勝山地区保護司会懇親会
13日	予算委員会、議会広報特別委員会	23日	北信越市議会議長会定期総会（長野県）
14日	勝山市食生活改善推進員協議会総会		

編集後記

勝山市の20歳のつどいが去る3月15日、恐竜博物館で行われました。来賓の一員として出席しましたが、まさに光陰矢の如し、歲月人を待たずの思いを胸にしたのは私だけだったのでしょうか。桜の花も散り、ゴールデンウィークももうすぐです。（丸山 忠男 記）

《議会広報特別委員会》

委員長 丸山 忠男 副委員長 吉田 将克 浦上 雄次 森 かよ子 富士根 信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 <URLアドレス> <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

<Eメールアドレス> gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画